

# 高月小だより

長浜市立高月小学校  
令和4年1月号

校長 山田 宏

## 2022年 明けまして おめでとうございます



新しい年を迎え、保護者・地域の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。

2022年、令和4年が始まりました。皆様にとりまして、この一年が幸多き年となりますことを祈念しております。

さて、1月7日から3学期が始まりました。3学期は、一年間の中で最も短い学期ですが、「一年間のまとめ」、「次年度の進級・6年生は中学校への進学」という大きな節目であり大変重要な時期となります。また、厳しい寒さの時期となり、かぜ・インフルエンザ・コロナウイルス感染予防等体調管理の重要性が増すこととなります。今一度、子どもたちに「健康・安全な生活」への実践力を高められるよう努めます。

始業式の中で、主に2つの話をしました。

一つ目は、「やる気」の大切さです。これまで子どもたちは、学習・運動に一生懸命取り組み力をつけたり、友だちと楽しく活動したりしてきました。さらに、自分の力を伸ばしたり、より楽しい学校生活を送ったりするために、やる気を持ち努力を重ねることが大切であることを話しました。冬休み中の学習課題の一つに「新年のちかい」があり、それには子どもたちのやる気が書き表わされていると思います。大いに楽しみます。

二つ目は、「進んで挨拶をしよう」ということです。特に、朝の「おはようございます。」という挨拶を聞くと元気がもらえること、お互いに気持ちよくなることを伝えました。さらに、「元気な挨拶の声を地域の皆さんに届けよう。」と話しました。高月小学校区には、登下校時の安全を見守ってくださっている地域の方々等多くの皆さんが学校への支援をしてくださっています。こうした方々への感謝の意味を込めて元気な声で挨拶をしようと呼びかけました。

現在、高月小学校の児童は327名です。「チーム高月小学校」として、“全校児童を全教職員が見守る”を胸に、子どもたち一人一人が心身ともに成長を遂げられるよう尽力していきます。保護者・地域の皆様、これまで同様ご理解・ご支援をよろしく願います。

### 始業式 ～「新年のちかい」の発表～

冬休み期間中子どもたちの大きな事故等なく、3学期を迎えることができました。何より嬉しいことです。

始業式の中で、各学年の代表児童が「新年のちかい」を発表しました。“やる気”が感じられ頼もしく思いました。各学級でも「新年のちかい」を発表したり掲示したりして、その実現に向け意欲が高まるようにしていきます。子どもたちの活躍等どんな成果が見られるのか大いに楽しみます。



## 【5年しめ縄作り】

12月14日に5年生がしめ縄を作りました。この日は、8名のボランティアの皆さんが指導に来てくださいました。子どもたちは、作り方の説明を聞いた後、作業に入りました。始めはしめ方が弱く、“しめ縄”とは言い難い物がありましたが、ボランティアの皆さんのお助いで、何とかしめ縄が完成しました。でき上がった喜びや満足感を味わっていることが子どもたち表情から感じられました。「お土産として喜んでもらえると思う。」「手が痛い。疲れたけれど、楽しかった。」等々の感想を聞くことができました。また、「米という字は、はちじゅうはちと書き、それだけの苦労があって米ができる。」といった話に感心する姿がありました。

高月小学校では、多くの皆さんがボランティア活動をしてくださり、子どもたちの学びを深めていただいています。「子どもたちが喜ぶ姿を見ると元気がもらえる。また、やってみようという気持ちが湧いてくる。」といった話を聞かせていただいています。本当にありがたいことで、「感謝、感謝、感謝」しかありません。これからも、どうぞよろしくお願いします。



## 【4年人権学習】

12月20日に人権擁護委員2名の方を講師に迎え、4年人権学習を行いました。ビデオ「プレゼント」を視聴し、いじめについて考えました。ビデオの内容は、「友達をいじめていた主人公の大切な犬がいなくなり、主人公は互いに心の葛藤がありながらも、いじめていた友達といっしょに探します。そして、犬が無事に見つかり主人公がいじめていたことを謝る」ということでした。子どもたちは、いじめてしまう主人公の心情、いじめられている友達の心情等を考えました。最後に、主人公がどのようにして友達のことを考えるように変わったのかについて考えました。

子どもたちは、いじめについて身近な問題として捉え、考えを発表しました。講師から、「子どもたちがたくさん発表したことは大変良かった。」「いじめについて自分のこととして考えていたのが伝わってきた。」等の話がありました。

子どもたちは、「いじめることはダメだと感じた。いじている人は、いじめられている人の気持ちがわからないのだ。」「自分が悪いと思ったら謝る。助けてほしいときは、SOS（ミニレターに電話したり、手紙を書いたりする。）」「見ているだけの人もいじているのと同じだと強く思った。自分中心の人と相手のことを考えられる人との違いがよくわかった。」等々の感想を書きました。この学習での学びを生かし自分も友達も大事にする気持ちを持ち続けてほしいと思います。

人権擁護委員のお二人には、事前準備や指導等お世話になりました。ありがとうございました。



## 【登下校時の安全に向けて】 ～スクールガードの皆様、ありがとうございます～

高月小学校のスクールガードの皆様のおかげで、子どもたちは安全に登下校することができます。通学路のあちらこちらに立って「気をつけて。」と声をかけたり、横断を見守ったり、いっしょに歩いたりしてくださっています。本当にありがとうございます。こうした皆様のお力添えに班長を中心に「ありがとうございます。」とお礼を言うようにしています。

